

まちづくりカフェとあさ第5回開催結果

■開催概要

* 目的～ このワークショップは、地域住民を主人公とした持続可能な地域づくりの将来目標を描く地区別計画(協働実行プラン)の策定やそのプランの運営を行う地域運営組織の設立に向けた取り組みの一つに位置付けられています。

そこで、今回は、過去4回開催したワークショップで意見を出し合ったプラン素案の各事業項目に優先順位を付け、より具体化を図りました。

また、プランの実行組織の実施体制や設立スケジュール、個人構成員(役員候補)の募集について説明を行いました。

* 参加状況

日付	時間	場所	来場者	ワークショップ参加者
R7.2.8(土)	14:30～16:30	遠浅公民館	大人15名、子ども4名	大人15名、小学生2名

■次第 [ワークショップはワールドカフェ方式で実施]

・グループワーク1回目 テーマごとに分かれて修正。加筆、削除

1. 秘密基地を作る
2. 公民館利用方法
3. 組織づくり

・グループワーク2回目 テーマごとに分かれて修正。加筆、削除

1. 生活支援(子供／シニア)
2. 生活支援(子育て／ミドル)
3. 組織作り

・今後のスケジュールと地域運営組織の説明

■プラン素案の模造紙記入内容 (抜粋)

(交流)

・「餅つき」アベシュウイチさんの水田で餅米を植えて、それを餅つきしていた。

・「防災キャンプ」遠浅小の時に行っていた。自衛隊車両に乗ったり、炊き出しをしたり、気象協会の方に講演してもらったり、町とPTAと地域が連携していた。

・「公民館活用」遠浅自治会員以外も遠浅地区住民であれば無料で使わせてほしい。

・日ごろから子どもたちが集まれる場所になってほしい。

・様々な手段で多世代の交流がキーポイント

・「あつたかい場所」→公民館を入りやすい施設にしたい。

(生活支援)

- ・「高齢者宅の除雪が中高生のマンパワーで実現」 高齢者がヘルプを出しやすく！よろず屋的な困りごと解決隊と協議会がマッチングする。
- ・アイリス公園にクマが出て怖くて行けなくなった。避難場所や逃げる方法を知りたい。
- ・熊の生態が変わってきてるので真剣な対策が必要。ハウスに出てきてびっくりした。

(組織づくり)

- ・大人だけだと大人の視点、子供だけだと子どもの視点、大人と子供が一緒になって話し合えるように。
- ・富岡、第二新栄などいろいろな自治会と繋がるように。
- ・「情報受発信(公式アカウント)」 これができればいろいろな課題が解決しそう。
- ・お母さん方がやりたいことを吸い上げて、やれるようにしてあげたい。
- ・自治会の集まりに入りづらい。反対に自治会の人は、手伝ってもらえる人がいないと感じている。

■今後の流れ

- ・2月17日 集落支援員募集締め切り
- ・2月下旬 役員候補と協議会設立準備に向けての話し合い
- ・3月1日 第6回まちづくりカフェ 協働実行プラン発表、懇親会
- ・3月5日 地域おこし協力隊(コミュニティ協働推進員)募集締め切り
- ・3月中旬以降 協議会設立準備委員会開催
- ・4月未定 (仮称)遠浅地区まちづくり協議会設立総会



